

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	学校法人福岡工業大学
所在地	福岡市東区和白東 3-30-1
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	教育、学習支援業
電話番号	092-606-3131
ホームページ	https://www.fit.ac.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	・在宅勤務、時差出勤等、柔軟な勤務形態をとっている。 ・学内託児サービス制度があり、子供がいる教職員が働きやすい環境を整えている。 ・長時間労働を抑制するために、毎月管理職の会議体で各部署ごとの超過勤務状況を共有している。 ・毎年行っているストレスチェックにおいて、職場環境の改善が必要な部署へは管理職と状況共有し、具体的な改善に努めている。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 福岡工業大学

カ テ ゴ リ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																	
		環 境	社 会	経 済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人 権 ・ 労 働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・ダイバーシティ&インクルージョン宣言を公表し、経営理念「For all the students～すべての学生生徒のために」に基づき、年齢、性別、国籍、文化などの属性にとらわれることなく、様々な価値観の多様性を尊重し、教育・研究・社会貢献等の諸活動を行っている。						○			○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・在宅勤務、時差出勤等、柔軟な勤務形態をとっている。 ・学内託児サービス制度があり、子供がいる教職員が働きやすい環境を整えている。						○			○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・年に1回、外部講師をお招きし、全教職員へハラスメント防止研修を実施している。(別途ハラスメントeラーニング研修も実施。) ・ハラスメント相談窓口を設置し更にハラスメント強化を図るため、ハラスメント相談員を配置している。						○			○	○							○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・長時間労働を抑制するために、毎月管理職の会議体で各部署ごとの超過勤務状況を共有している。 ・毎年行っているストレスチェックにおいて、職場環境の改善が必要な部署へは管理職と状況共有し、具体的な改善に努めている。				○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・気軽に自分の受講したい研修が受けられるよう、外部機関のeラーニング形式の研修を取り入れている。 ・学内で行う研修は、対面だけでなく、オンデマンド視聴やオンライン視聴など、教職員が受講しやすい環境で学べるよう工夫をしている。						○	○		○	○								
環 境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・廃棄物は専用システムで一元管理し、学内では可燃ごみや古紙、金属類などを細かく分別回収。特に古紙は全研究室に回収ボックスを設置し、3R推進と意識向上を図っている。枯葉は地域企業に無償提供し腐葉土として活用、ゴミ削減にも貢献している。						○			○			○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・冷房設備のエネルギー使用抑制のため、クールビズ(年間)を実施している。 ・施設・設備を導入している(LED照明・高効率の空調機への更新、太陽光発電の利活用、コジェネシステム導入による発電機の廃熱利用など)。									○				○	○				
環 境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・会議体など、ペーパーレス化により紙を削減している。									○					○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・施設・設備の更新時に、節水型器具を導入している。 ・トイレ洗浄水には、中水を使用している(キャンパス内14棟)。									○									
製 品 ・ サ ー ビ ス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・安全衛生委員会による現場巡回やモノづくりセンターでの安全講習を通じて安全性を確保。施設は日常・定期点検で危険箇所を把握し、バリアフリー化も推進。事業活動では第三者評価を活用し、PDCAサイクルで継続的な改善に取り組んでいる。						○							○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	SDGsをテーマに全学的プロジェクトを展開し、意識共有や資源の可視化を推進。企業・大学との共同研究や地域課題を扱うPBLを通じてSDGs人材を育成。大学連携による教育プログラムも実施予定で、地域貢献と持続可能な社会の実現を目指している。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公 正 な 事 業 慣 行 ・ 組 織 体 制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報保護規程や情報セキュリティポリシー、9種のガイドラインを策定し、毎年研修を実施。ファイアウォールや各種システムの対策、通信監視を行い、情報漏洩や不正アクセスを防止。学外事例を用いた注意喚起も実施。																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守が確実に行われるよう、セミナーへの参加や、弁護士・社労士の方へ相談、アドバイスをを行いながら、体制・仕組み・ルールを整備している。																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。		○		・経営理念「For all the students～すべての学生生徒のために」を明文化している。 ・経営理念、経営目標に基づく中期経営計画[マスタープラン]を全教職員の意見を踏まえて策定し、全教職員で共有している。									○	○							○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・経営計画、事業計画策定にあたっては、あらゆる外部環境変化を想定した上で、持続性、継続性に留意し立案している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。											○		○		○			○